

<全体方針>

本市の地方創生を推進し、人口減少を抑制していくため、商工業や農林水産業、観光などの産業を振興する施策を展開し、雇用環境の充実や、子どもの頃から丸亀市に愛着を持ち、地元で働くことにつながる取り組みを進めるとともに、都市間の交流を促進し、本市の魅力を高める。

ゼロカーボンシティ推進のため、全庁へのCO2削減に寄与する取組の情報共有と取組推進への働きかけを行う。また、循環型社会の形成に向けて、一層の廃棄物の減量化・再資源化の取組の推進を図る。

<課ごとの指導方針>

産業観光課

第三次丸亀市産業振興計画（2023～2027年度）に基づき、産業振興支援補助金をはじめとする中小企業振興のための各種施策を実施するとともに、企業誘致や企業の設備投資に対する支援を行うほか、部内各課と連携し、地域特産品の開発や販路拡大の取り組みを支援する。また、支援機関と連携し、創業塾やフォローアップ事業を実施することで創業支援を行うほか、生徒に地元企業の魅力を伝える産業教育や地元出身の大学生にインターンシップの事業を実施するなど、将来の担い手（労働者）の確保や雇用促進に努める。さらに、企業訪問等を通じて得られた課題やニーズを産業振興施策に反映するとともに支援策を検討するなど、事業運営がしやすい魅力あるまちづくりを進める。ふるさと納税については、専門の委託事業者のノウハウを活かしながら本市の特色ある魅力が発信できるよう、さらなる推進を図る。

本市が誇る自然・歴史・文化・食などを背景に、丸亀城を中心とした回遊型・滞在型観光を推進する。そのために、令和3年3月に策定した「丸亀市観光戦略プラン」に沿った施策を展開し、毎年度末に設定したKPIの検証と施策の見直しを行う。また、丸亀版DMOを中心に地域の稼ぐ力を引き出す観光地域づくりや国内旅行の需要創造に向けた体験型・学習型観光メニューの造成・プロモーションに積極的に取り組む。

また、関係各課、関係機関、民間団体等と連携し、丸亀うちわや骨付鳥等の丸亀ブランド（地域資源）の魅力を広くPRする。

農林水産課

農業については、国・県その他各種団体と連携し、多様な担い手の育成・確保や集落営農の組織化・法人化を推進し、農地集積による農地の有効活用や、農業経営の安定化に努める。農産物に被害を及ぼす有害鳥獣対策については、ICTを活用したイノシシ対策を行う等、効率的な捕獲を推進する。また、6次産業化に取り組み、新たな販路の開拓や新商品の開発による儲かる農業の推進に努める。この他、土地改良事業による農業基盤整備の充実や、豪雨災害等に対する排水対策を図るとともに、新たな農業振興地域整備計画に基づいた地域農業の振興に努める。

水産業については、重要稚仔の放流等による漁業資源の確保等に努め、安定した漁業経営を目指す。

地籍調査事業については、計画的に事業を推進し、土地をめぐる行政活動や経済活動の基礎データの整備に取り組む。

生活環境課

本市の温暖化防止対策をとりまとめた丸亀市地球温暖化対策実行計画に基づき、市民及び市内事業者の理解・協力のもと市役所をはじめ市域の温室効果ガス排出量の削減に取組み、脱炭素社会の実現を目指す。

交通安全については、高齢者ドライバーの事故を抑制するため、運転免許証自主返納支援事業の周知・促進に努めるとともに、自転車の安全利用や反射材の着用など交通安全意識向上の啓発を行うことにより、交通事故の抑制を図る。

クリーン課

4R活動を推進し、廃棄物の減量化及び再資源化に努めることで、循環型社会の形成を目指す。特に、家庭などから排出される食品関係の廃棄物の減量に向け、積極的に啓発活動を行う。また、プラスチックごみのリサイクルを推進するため、プラスチック容器包装廃棄物を分別回収し処理するための各種取組を進める。

農業委員会事務局

農林水産課その他関係機関との連携により、農地の集積・集約、遊休農地の発生防止・解消など農地利用の最適化に努める。

令和6年度 各課の重点的取組					中間評価	
課名 (連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	総合計画	評価 (予定どおり・遅れている)	現在の状況
産業観光課	★産業振興の支援	●企業訪問専門員による企業訪問や無料経営相談「中西讃マルタス常設サテライト」を通じたニーズ把握と市・国・県などの支援施策のPR ●中小企業支援対策の更なる充実（産業振興支援補助金、各種融資の実施及び保証料、利子の補給）	○企業訪問 300 社 ○中西讃マルタス常設サテライト 相談件数 800 件（市外含む） ○中小企業支援ガイドブック作成 ○各種制度内容の見直し	15－②－1 15－②－1		
	★産業教育の充実 【重点プロジェクト】	●地元への愛着を持つ人材を育て、将来的に地元で就労する定住者を増やすための産業教育を実施	○生徒に地元企業の魅力や特徴を紹介する地元企業PR事業の実施 実施中学校 市内全校	No.33		
	★インターンシップの充	●定住自立圏域での首都圏・	○受入事業所 30 社	No.34		

	実 【重点プロジェクト】	関西圏大学生を対象に、インターンシップ事業を実施し、雇用確保と本市への移住促進	参加学生数 50 人 中讃圏域内採用内定数 5 人			
	★企業立地の促進 【重点プロジェクト】	●県及び関係各課と連携した企業立地促進奨励制度の積極的な活用促進 ●設備投資に係る固定資産税特例制度の積極的な活用促進	○交付予定件数 3 件 ○先端設備等導入計画の認定数 10 件	No.35		
	★地域産品の販路拡大支援 【重点プロジェクト】	●地域特産品の開発や販路拡大の取り組みを支援	○産業振興支援補助金（地域産品の販路拡大支援関連メニュー） 補助件数 5 件	No.36		
	★地場・伝統産業の振興 【重点プロジェクト】	●連合会と連携した丸亀うちわの PR ●後継者育成	○竹うちわの生産本数 年間 107 万本	No.37		
	★創業・第二創業の支援 【重点プロジェクト】	●創業支援等事業計画に基づく商工会議所等と連携した創業支援相談などによる創業支援の強化 ●創業塾を開催し、地域における創業者を支援 ●創業塾修了生を対象に支援機関と連携し、フォローアップ事業として異業種交流や情報交換ができる場を提供す	○創業相談 30 件 ○創業件数 10 件 ○年 4 回開催 ○参加者数 20 人 ○年 1 回開催 ○参加者数 10 人	No.38		

		る。 ●空き店舗、空きオフィス等 活用促進補助金による創業支 援及び中心市街地の活性化支 援	○空き店舗、空きオフィ ス等活用促進補助金 7 件 ○空き店舗率 29.0%	No.38		
	ふるさと納税の推進 【重点プロジェクト】	●効果的なPRによる寄附件数 および金額の増加。 ●定住自立圏域自治体の連 携による、新たな返礼品の発 掘及び開発 ●丸亀市独自の魅力的な返 礼品の提供 ●「地域再生計画」の取組み 事業達成のため、「企業版ふる さと納税」のPRに努め、企業と のマッチングを図る	ふるさと納税寄附件数 30,000 件 ふるさと納税寄附金額 300,000 千円 企業版ふるさと納税 6 件 10,000 千円 (令和6 年度末)	No.78		
	★丸亀版DMOの推進 【重点プロジェクト】	●観光データの収集 ●観光戦略の進行管理と PDCAサイクル ●観光協会事務局機能の強 化	○観光客動向調査 年4回 ○DMO懇談会・PT会議の 推進 ○旅行消費額 宿泊なし 3,608円 宿泊あり 17,742円 ○来訪者満足度 35.5% ○リピーター率 42.8%	No.39		
	★回遊型・滞在型観	●丸亀城をはじめ固有の地	○年間入込客数	16-①-1		

	光、広域観光の推進	域資源等を活用した回遊型・滞在型、広域観光の推進 ●団体旅行、コンベンション、合宿に対する助成制度の利用促進 ●物産展、観光キャラバン等によるシティセールスの推進 ●城泊実施に向けた滞在型観光の推進 ●広域での観光博覧会の検討	350万人 ○天守入場者数 14万人 ○年間宿泊数 60万人			
	★インバウンド対策の推進	●海外でのシティプロモーション事業の実施 ●世界の持続可能な観光地TOP100選の活用	○香港、台湾、タイ（県主催の商談会への参加）	16－④－1		
	★多様な連携機会の充実 ★地域産品の販路拡充支援 【重点プロジェクト】	●地域イベントや県外での物産展等の開催及び地域資源PR活動 ●ブランド認定制度の活用	○県内外におけるPR活動 7回（うち県内他市町との共同実施1回）	16－⑤－1 No36		
農林水産課	★地籍調査事業の推進 【重点プロジェクト】	●丸亀市の全体面積111.83km ² のうち、旧丸亀市地区64.65 km ² 、総筆数約136,000筆について、H23	○地籍調査の進捗率 60.3% ○一筆地調査の実施【地域】	No19		

		から23年間（島嶼部6年間を除く）で地籍調査を実施する	飯野町東分の一部、飯野町西分の一部、 富屋町、本町、塩飽町、南条町 面積：0.85 k m ² 筆数：2,752筆			
★ため池の防災対策の強化	●防災対策が必要な老朽化した中規模ため池について改修工事を実施する ●防災重点農業用ため池への水位計・監視カメラ設置を推進し、監視・管理体制の強化を図る	○ため池改修工事 4箇所 ○水位計・監視カメラ設置 5箇所	—			
★浸水被害対策の推進 【重点プロジェクト】	●浸水被害があった水路について効果的な工法を調査し、対応が有効と判断される水路について、対策工事を実施	○排水対策工事 5箇所	No26			
★生産基盤の強化 【重点プロジェクト】	●担い手農業者への農地集積により、農地の有効活用を図る ●土地改良施設の整備にかかる事業費を補助し、農村環境の適切な維持管理を推進する ●漁協の意向に沿いなが	○水田の利用集積率 26.0% ○土地改良事業の実施件数 市単独補助事業 92件 ○重要稚仔放流量	No30			

		ら、高価格で海域での移動が少ないなど、放流効果の高い魚種の選定	クルマエビ 180千尾 ヒラメ 12千尾			
★インターンシップの充実 【重点プロジェクト】	●就農相談によるインターン希望者の掘り起こし ●インターン生受入農家の掘り起こし	○相談回数 5回/年 ○受入農家 1戸	No.31			
★後継者の育成・確保 【重点プロジェクト】	●関係機関と連携した担い手の確保及び経営支援	○農地保有適格法人数 法人設立 1法人 ○認定農業者数 145人 ○新規就農者の認定 4人	No.31			
★有害鳥獣対策の強化	●有害鳥獣捕獲従事者の増員を図り、積極的な個体数調整を図る	○有害鳥獣捕獲従事者の増員 3名	—			
★6次産業化の支援 【重点プロジェクト】	●6次産業化マッチングバンクを活用した生産者と事業者、消費者のマッチング機会の創出及び新たな丸亀ブランド品となる新商品の開発	○6次産業化商品開発 件数 3件	No.32 No.36			
★地域産品の販路拡大支援 【重点プロジェクト】	●丸亀ブランドとして確立でき得る地場農水産物について、関係機関等と連携したPR活動など販路拡大に	○物産展やイベント等の開催 2回	No.32 No.36			

		努める				
生活環境課	★地球温暖化防止（カーボンニュートラル）の推進 【重点プロジェクト】	●ゼロカーボンシティに向けた取組を全庁的に推進する。 ●再生可能エネルギーの普及促進を図る。	○丸亀市地球温暖化対策実行計画の進行管理（本部会開催3回／年） ○住宅用補助件数 ・太陽光発電システム：135件 ・ZEH設備：130件 ・蓄電システム：140件 ・V2Hシステム：5件 ・太陽熱利用システム：3件 ・EV車等：75件 ○事業者用補助件数 ・太陽光、蓄電システム同時設置：10件	No.13		
	★環境保全意識の向上	●環境に配慮した生活や社会活動を推進する。	○環境教育・環境学習の実施（5回／年） ○環境にやさしい事業所登録：170事業所	3-①-1 3-③-1,2		
	★高齢者交通安全対策の推進 【重点プロジェクト】	●高齢者への運転免許証自主返納支援事業の周知・啓発	○支援事業受付け数：500人	No.29		
	★交通安全教育の推進	●歩行者・自転車の安全確保対策	○教室等による啓発人数9,000人	—		

			○自転車用ヘルメット 購入補助件数：2,800人			
クリーン課	★廃棄物の減量化及び再 資源化の推進 【重点プロジェクト】	●食品ロス削減に向け、各種 取組を推進する。 ●資源ごみの拠点回収の環境 を充実する。	○定住自立圏域での効果 的な啓発活動の検討と取 組 ○パネル展の開催等 ○コミュニティセンター での拠点回収の拡大（廃 食油等）	No.14 4－① 4－⑤		
	★プラスチックごみの分 別回収の取組 【重点プロジェクト】	●プラスチック容器包装廃棄 物の拠点回収を推進する。	○排出状況の調査・分析 ○市民への周知・啓発 ○先進地視察研修の実施	No.14 4－① 4－②		
農業委員会事務 局	★農地利用最適化の推 進	●農地全筆調査により遊休 農地の把握、利用意向調査 の実施 ●香川県農地機構を活用し た農地の集積・集約 ●丸亀市耕作放棄地解消事 業の活用促進	遊休農地の解消:3ha 事業実施件数 3件	14－②－1		